

あざれあ便り



KURUME COLOPROCTOLOGY CENTER

CONTENTS

- ◆特集：全大腸内視鏡検査
- ◆便潜血検査キットの変更
- ◆学会発表の報告
- ◆患者会の報告
- ◆連携病医院の紹介



理 念



TAKE FREE ご自由にお持ち帰りください

NO.17

全大腸内視検査をうけませんか？

■ 死因のトップは「がん」

2006年の死因順位は・1位：がん 2位：心疾患 3位：脳血管疾患でした。
「がん」の予防はもちろん大切ですが、誰でもがんになる恐れはあるため
「早期発見」が重要です。



■ 大腸がんの死亡数「3位」

以前から日本人は「胃がん」が多く、「大腸がん」は少ないと言われてきました。
しかし、食生活の変化等から「大腸がん」の死亡数は増加し続け、現在は死亡数「3位」
になってしまいました。

■ 「大腸がん」の早期発見のために・・・

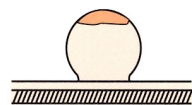
早期のうちには、ほとんど症状はあらわれません。そのため、「大腸がん検診」を受けることが重要です。
便潜血検査が陽性であればもちろん精密検査が必要になりますが、陰性でも一度は検査を受けることをお勧めします。小さいポリープのうち出血がほとんどなく、便潜血検査では陽性にならないためです。
当院では「ポリープが見つかった場合、その時に切除できる」という点から「全大腸内視鏡検査」をお勧めしています。

■ 全大腸内視鏡検査とは・・・

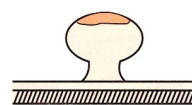
目的 肛門から内視鏡を挿入し、大腸がんやポリープができていないかを調べます。
ポリープが発見されたら、例外を除いて同時に切除します。

ポリープとは

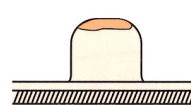
ポリープとは、ラテン語で「きのこ」という意味です。大腸にできた「きのこ」のようなイボ状のものが「大腸ポリープ」です。大腸のポリープは、日本人よりも欧米人に多い傾向にありますが、近年では食事の欧米化から、日本人にも急増しています。
ポリープは一般的には良性のものがほとんどですが、大きくなるとガン化することがあるため、切除をおすすめします。(中には切除せず、経過観察ですむポリープもあります。)



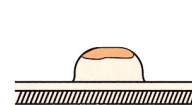
短茎性ポリープ



長茎性ポリープ



無茎性ポリープ

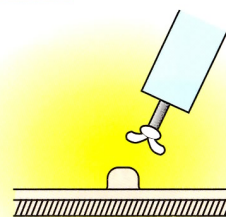


扁平ポリープ

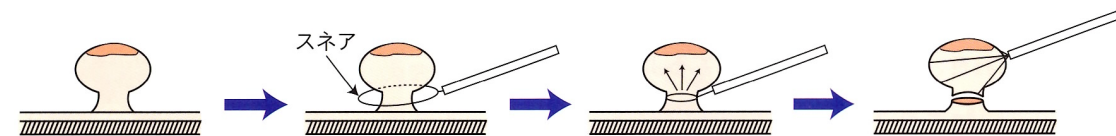
ポリープをとる方法

※ポリープをとる方法は、大きさによって違います※

◆5mm以下の小さなポリープ・・・「生検」を行います。
つまみとるだけなので「切除術」ではなく「処置」扱いになります。
入院の必要はありません。



◆5mm以上のポリープ・・・ポリープにスネア(輪っか)をかけて、電気で焼き切ります。
「ポリープ切除術」です。
出血したりすることがあるため、入院が必要になります。
入院の日数は、ポリープの大きさや数によって異なります。



ポリープの大きさや形によっては、内視鏡では取れずに開腹手術になる場合もあります。

■ 全大腸内視鏡検査を受けるまで・・・

前日まで

- まずは、診察におこしください。
- 検査の日程を決めます。
- 検査の2～3日前から、繊維の多いものは避けていただきます。
- 前日の夜に下剤を飲んでいただきます。

診察を行い、便通の状態にあった下剤を処方いたします。
内服中の薬がある方は忘れずに持参を。

ごま・ひじき・のり・山菜・キウイ・柿などは避けてください。

検査前

当日は9時までに病院へお越しください。
午前中かけて腸の中を洗う薬を飲んでいただきます。

検査中

午後から検査開始です。
●御希望があれば、鎮静剤(ポーっとする薬)を使います。
●検査時間は平均30分くらいです。

検査用の紙パンツをはいていただきますので恥ずかしくありませんよ。

検査後

何もなかった場合
または、つまみとった場合
検査後30分ほど休んでいただき、説明を聞いていただいたら終了です。

ポリープ切除術を行った場合
安静のため、入院です。
ポリープの大きさや数で入院期間が変わります。

後日

病理検査に出している場合は、2週間以降に結果がでますので、病院までお越しください。



検査について質問のある方は、お近くのスタッフまで声をかけてください。

患者会の報告

くるめIBD友の会

平成19年2月24日(土) くるめ病院内あざれあホールにて、「くるめIBD友の会」を開催しました。今回の講演の内容は「食事のバリエーションについて」(講師:管理栄養士 岩崎)と題し、基本的な内容から食事の工夫まで豊富な内容でした。また、講演後には「食事を含めた日常生活について」というテーマで、参加者の方々の交流の場として座談会を開き、日頃、病気やお薬、食事で困っていることや疑問に思っていることなど同じ病気で悩んでいる方の意見や体験を聞くことができ、大変有意義だったという意見が多数寄せられました。今年度も引き続き、開催する予定です。ご要望などお待ちしております。(IBD友の会事務局)

あざれあ会

平成19年3月18日(日) あざれあホールにて「あざれあ会」が開催され、オストメイト・ご家族・医療従事者など69名の参加をいただきました。内容は、久留米大学WOC認定看護師 平川道子先生による講演「ストーマ管理と装具の選び方」についてと装具メーカー4社からの商品紹介でした。平川先生の講演は、実際の症例を基に装具選択とケアの注意点についてのとてもわかりやすい内容でし

た。また、オストミー協会福岡県支部長 尾針様よりオストミー協会の活動とオストメイトの現状についての報告がありました。

平成19年度も下記のように年3回の患者会の開催が予定されています。

今後も専門病院としてオストミー協会の方々と患者会を中心とした連携を図っていきたいと考えております。(あざれあ会事務局)

あざれあ会 開催予定

平成19年7月1日(日)	時間 13:30~15:00
平成19年12月2日(日)	会場 くるめ病院 あざれあホール
平成20年3月23日(日)	



大腸がん検診(便潜血検査)の採便容器が変わりました!

当院では、より正確な検査を行っていくために大腸がん検診(便潜血検査)の採便容器を、4月より変更しました。

従来の採便容器と比べて優れている点は、

① 暑さに強い!

採便後の検体を、高温の場所に長時間放置しておくと、検査をしても正しい結果が得られない場合があります。今回の採便容器は、採便後のヘモグロビンの安定性が良く、実験データによると高温(35℃)で保存しても、採便後7日目まで、採便当日の測定値の70%を維持しており、従来の容器に比べより正確な検査になります。(但し、冷蔵庫での保管をお勧めします) ※図1参照

② 清潔感がある!

アクアブルーの保存液および同色の袋で保管するので、採便後も清潔感があります。

※写真1参照

③ 扱いやすい!

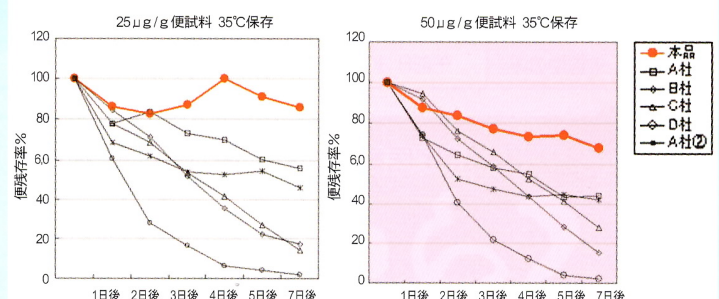
スティックは持ちやすいグリップになっていますので、採便がしやすく、また、容器本体は名前や日付が書きやすい形状になっています。

ぜひ、大腸がん検診(便潜血検査)を年に一回は、受診しましょう。

<写真1>



<図1>



山縣文夫 他 医療と検量機器・試薬 29(2)2006. より引用

新人紹介

薬局 谷岡くみ子

2月1日より薬局に勤務させて頂いています。薬剤師としては7年目を迎えますが、病院での勤務は1年生です。初めての経験も多いですが、くるめ病院の理念「笑顔・奉仕の心・自己研鑽・専門性・安全」を常に念頭におき、皆さんのお役に立てるよう、精一杯努めて参りたいと思います。どうぞ宜しくお願い致します。



4階病棟 看護師 古賀好美

患者様に信頼していただける心のこもった看護を提供出来るように、また、くるめ病院理念である「5S」を大切にし、より良い病院づくりに参加していけるように努めて行きたいと思っています。

連携病医院の紹介

◆(医)光生会 かなざわクリニック

〒811-1364 福岡市南区中尾3丁目37-20
TEL : 092-551-3883

●院長 金澤 昌満 先生



●略 歴

H2年 久留米大学医学部卒業
久留米大学外科学教室に入局し、
大牟田市立病院、社会保険田川病院、
熊本セントラル病院等へ出向。
H15年よりくるめ病院勤務。
H19年5月 かなざわクリニック院長。
日本外科学会専門医、日本大腸肛門病学会専門医、
日本消化器内視鏡学会専門医。

診療日・時間

午前9:00～12:30(月～金) / 午後2:00～6:00
9:00～13:00(土)

	月	火	水	木	金	土	日・祝
午前	●	●	●	●	●	●	／
午後	●	●	●	●	●	／	／

●コメント

昭和41年開院のクリニックです。今後はくるめ病院での経験を生かし、特に大腸肛門疾患に力を入れていきます。大腸肛門疾患は恥ずかしく、人に相談しにくいと思いますので、プライバシーに十分配慮した優しい医療を心がけています。くるめ病院との連携も行っていますので、どうぞ安心して診察を受けて下さい。

◆やまだクリニック

〒819-0006 福岡市西区姪浜駅南2-1-37
メディカルビル竹下3階 TEL : 092-883-2488

●院長 山田 勝博 先生



●略 歴

福岡大学医学部卒業
九州厚生年金病院、
佐賀県立好生館病院、
白十字病院、くるめ病院などを勤務。
平成18年11月にやまだクリニック開業。
日本消化器内視鏡学会専門医、
日本外科学会専門医、日本医師会認定産業医。

診療日・時間

午前8:30～13:00(平日) / 午後2:30～6:00
8:30～13:00(木・土)

	月	火	水	木	金	土	日・祝
午前	●	●	●	●	●	●	／
午後	●	●	●	／	●	／	／

●コメント

胃腸科、肛門科を中心に診療しています。また、くるめ病院で学んだ5Sの理念をむねに頑張っています。



学会発表の報告

平成19年1月～4月

H19.2.8-9

第22回日本静脈経腸栄養学会（松山）

白濱 綾子：くるめ病院NST活動についての報告
秀島 貴子：短腸症候群の症例に対し、栄養状態改善し
在宅療養が可能となった1例

H19.2.17

第24回日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会（横浜）

荒木 靖三：肛門括約筋切除と肛門機能障害～動物モデル～
桑野 初子：直腸低位前方切除術後の排泄ケア
種子田美穂子：二分脊椎症患者の排泄ケア
田邊 佳与：排泄障害におけるPTの役割
～神経障害による排泄障害を呈した症例を経験して～

H19.2.20

第15回Kurume Endosurgery Forum（久留米）

野明 俊裕：大腸部門における技術認定に向けた取り組み

H19.3.11

第2回内痔核治療法研究会（東京）

野明 俊裕：怒責診断に基づく硬化療法適用の決定

H19.3.16

第15回福岡大腸手術手技研究会（福岡）

金澤 昌満：骨盤底機能から見た直腸脱手術

H19.3.30

IBDを学ぶ会（筑後地区）

野明 俊裕：潰瘍性大腸炎の一症例を検討して

H19.4.20

第93回日本消化器病学会総会ランチョンセミナー（青森）

荒木 靖三：潰瘍性大腸炎術後の排便障害対策

外来担当医一覧表

平成19年5月現在

	午 前							専 門 外 来
月	高 野	荒 木	野 明		藤	中 川	岩 谷	ヘルニア外来（午前中）
火		荒 木	野 明	永 江	藤		岩 谷	IBD外来※ ¹ （午前中）
水		荒 木	野 明	永 江		中 川	岩 谷	
木		荒 木		永 江	藤	中 川	岩 谷	
金			野 明	永 江	藤	中 川	岩 谷	ヘルニア外来（午前中） 女性外来※ ² （午前中予約制）
土		荒 木	野 明	永 江	藤	中 川	岩 谷	IBD外来※ ¹ お通じ外来※ ³
日	担 当 医 より 1 名							

☆専門外来は予約制となっております。

※¹ 光山(久留米大学)：毎週火曜午前中・第1土曜、荒木：土曜

※² 佐藤(久留米大学)

※³ 壬生(九州大学)・荒木：第2・4土曜

診療科目／肛門科・胃腸科

診療受付時間

		受 付 時 間	診察開始時間
平 日	午前の部	午前8:00～午前11:30	午前8:45～
	午後の部	午後1:00～午後4:30	午後2:00～
土曜日	午前中のみ	午前8:00～午前11:30	午前8:45～
日曜日	午前中のみ	午前8:30～午前11:30	午前9:00～



No.17

企画・発行

特定医療法人社団高野会
くるめ病院 地域医療連携課

※専門病院としてのさまざまな医療情報を
掲載したホームページを開設しています。
<http://www.uproad.ne.jp/kurume/>

※携帯版ホームページは
こちら →



〒839-0865 久留米市新合川2丁目2-18
TEL (0942) 43-5757(代)
FAX (0942) 43-6959



くるめ病院

(旧日高病院)

大腸肛門病センター